東奥日報2026年6月12日(金)付掲載

「手間と時間、想像以上」

青森 隠岐さん 藍染めに挑戦

藍染めに挑戦する隠岐さん㊨と朱織ちゃん

青い海と森の音楽祭

10/31−11/8

青い海と森の音楽祭の音楽主幹でソプラノ歌手の隠岐彩夏さん（五所川原市出身）が11日、青森市のあおもり藍産業で音楽祭グッズの藍染めに挑戦した。

藍染めをはじめ、さまざまな音楽祭グッズ開発に昨年協力した東奥日報社の女性倶楽部「女子○（ジョシマル）」の会員ら5人が加わる中、隠岐さんは娘の朱織（あかり）ちゃん（6）と一緒に、あおもり藍産業の社員の指導を受けながら染色作業に励んだ。約50センチ四方のバンダナ向け試作品の白い布を、同市産の藍の葉が入った染め液に3分ほどくぐらせた後、丁寧に水洗いをする工程を2度繰り返し、淡い青色に染め上げていった。

昨年の公演衣装の8度染めた濃紺シャツ姿で参加した隠岐さんは「染めの手間と時間が想像以上で、ありがたさを感じました。出演者にも伝えたい」と感慨深げだった。（葛西憲悟）

無断での複製・転載・生成AI利用を禁じます